

# 田中の子

第 11 号

令和2年11月19日  
紀の川市立田中小学校  
校長 宮本 美保



校門の銀杏の葉がハラハラと落ちる毎日。秋真っさかり…と言いたいところですが、ここしばらく、日中は夏を思い出されるくらいの気温が続き、朝夕の気温差が激しい日が続きました。体調管理が難しいですね。

11月になって、ようやく学校にも授業参観やゲストティーチャーによる授業など、外部の方々に学校へお越しただけの行事が増えてきました。ですが、感染症もまた第3波がきているようです。手洗いや消毒、マスク着用での学校生活、改めて徹底していかなくてはと思っています。(臨休中に職員で作ったマスクが底をつきました。忘れたときのためにマスクの予備をランドセルに2~3枚入れてあげてください。)

## 授業参観 ありがとうございます

11月9日から5日間、一斉にご覧いただくことはできませんでしたが、今年度初めて子ども達の授業の様子を見ていただけました。

おうちの人に来てくれることがとても嬉しくて、休憩時間からそわそわドキドキしている子や「昨日来てくれたけど、今日来ないのが悲しい」という子もいました。おうちの人が見に来てくれる事が子どもにとって大きなやる気に繋がるんでしょうね。



## 楽しかった修学旅行

11月15、16日、6年生が紀南方面へ修学旅行に行ってきました。両日とも汗ばむほどの絶好の行楽日和、元気に2日間の旅行を楽しみました。今年度は県内旅行となりましたが、ふるさと和歌山の良さを再発見できる機会になったと思います。それに何より、仲間とともに行動し、語らい、夜をともに過ごすことが一番の思い出になったことでしょう。

【1日目】



本州最南端 潮岬  
地平線の広がりを見ました。昼食もここで食べました。



熊野速玉大社  
那智大社と青岸渡寺にも行きました。お守りを買った子も。



世界遺産 熊野古道  
ずっと続く石畳。歴史を感じ、歩くつらさも感じ…。



那智の滝  
さすが高さ・水量日本一！迫力がありました。

【2日目】



ホテル移動  
従業員さんに見送られ、船に乗ってホテル浦島を後に。



三段壁  
崖の上から見下ろす景色は絶景！でも早く次に行きたい！



アドベンチャーワールド  
お弁当を食べながらイルカショーを見た後は、グループで園内を回って楽しみました。

## ゲストティーチャーさん、ありがとうございます！

11月10日~12日の3日間、4年生で手話教室を開催しました。例年は、体育館に4年全員が集まって1回だけの実施でしたが、手話により親んでもらいたいとの市の福祉部のご配慮で、3クラスごとに2時間ずつお越しくださいました。クイズを盛り込みながら、とても楽しく手話の基本を教わりました。手話だけではなく、「思いやり」「人間愛」といったとても大切な想いもしっかり伝えていただきました。ありがとうございました。(キッズサポート・人権教室は次号でご紹介します)



## 反抗期 共感の気持ちをもって…

### 反抗期の子どもに接する際のポイント

- 話を遮らず、うなずきながら聞く。否定や理詰めのアドバイスではなく、傾聴と共感を大切に
- 怒りにまかせて発言しない
- 社会秩序や道徳などから逸脱していることは、反発されても具体的にしっかりと伝える
- 親の思い通りにならなくても、受け入れ、見守り、子どもにとって家庭を居心地の良い場所に

(2020.11.5 読売新聞コラム「子ども」より)

子どもさんが小学校高学年になると、「コミュニケーションが上手いかない」「反抗的だ」などと感じる、いわゆる「反抗期」に入ってきます。とりわけ、この年頃の女子はホルモンバランスの影響もあって、イライラするなど気持ちが不安定になってしまう場合もあります。でも、それは「心が健全に育っている証拠」なんだそうです。

親が反抗期に入った子どもに接する時、ストレスを感じるのは当然のこと。でも、「口ばかり」「偉そうなこと言うな」などと、子どもの人格を否定するような言葉は厳禁です。互いにイライラしないためにも、この時期は細かな指図は避け、やり過ごすことも大切だそうです。家庭では、「おかえり」「がんばってるね」など、子どもにとって嬉しい言葉、安心できる声かけを増やすことを心がけてください。(2020.11.5 読売新聞コラム「子ども」より)

